

臨地実習 (公衆衛生看護学)

【担当者名】 佐藤美由紀[sato_m@hoku-i-ryo-u.ac.jp]
 明野聖子 [naga-s@hoku-i-ryo-u.ac.jp]
 表山知里 [omote_22@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

【概要】

地域住民の健康課題を多様な情報からアセスメントし、課題解決に向けて、保健所および市区町村における個人・家族、集団、組織を支援する方法を学ぶ。さらに、社会資源を活用・開発して地域全体の健康と生活を維持・向上する地域ケアシステム構築に携わる保健師としての基礎的知識・技術・態度を習得する。

【学修目標】

- 1) 健康を守る主体は住民であることを理解し人々の持つ力を見出すことができる。
- 2) 住民の多様な生活と価値観を理解し、ニーズや健康課題を明確化できる。
- 3) 公衆衛生看護活動の方法を理解し、対象者に合わせた支援の展開ができる。
- 4) 地域の健康課題を解決するために、地域の特性や健康課題の分析をもとに方策を探索し、エビデンスに基づいた施策化ができる。
- 5) 地域の健康危機管理体制を理解し、人々が安心して健康な生活を送るための支援の展開ができる。
- 6) 公衆衛生看護活動の対象と多様な場に応じたコミュニケーション力を身につけ、主体的・継続的に学び、事項の知識・技能を向上させることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1週	1. 市町村における保健師活動 2. 保健所における保健師活動	1) 市区町村において、学生が実施する健康教育の対象集団を見学し、集団の特性や健康課題についてアセスメントを行う。 2) 市区町村の住民を対象に実施されている健康を守るための地域的アプローチを見学し、地域的アプローチの実際と目的・意義を学ぶ。 3) 保健所の機能と役割、保健所における保健師活動の意義とあり方を学ぶ。 4) 保健所が管轄する地域において、精神・難病・感染症いずれかの健康課題を持つ住民に対して実施する保健師の家庭訪問に同行し、対象者のニーズをとらえ、援助方法や援助のあり方を理解する。	佐藤、明野、表山
2週	1. 市町村における個人・家族、集団、地域の健康課題の明確化(1) 2. 市町村における対象にあわせたPDCAサイクルを用いた支援の展開(1)	1) 地域アセスメントの発表を通して、地域の特性と健康課題を明確化する。 2) 地域アセスメント・地区踏査計画の発表を通して、地域の特性と健康課題について検討したことをふまえて、地区踏査計画の修正・追加を行う。 3) 母子事例または成人・高齢者事例を担当し、継続訪問事例への保健師が行う家庭訪問に同行し、個別・家族への支援を見学・一部実施する。 4) 地域における小集団やグループへの支援を見学する。	佐藤、明野、表山
3週	1. 市町村における個人・家族、集団、地域の健康課題の明確化(2) 2. 市町村における対象にあわせたPDCAサイクルを用いた支援の展開(2)	1) 乳幼児健診、各種相談および教室の保健事業を見学・体験する。 2) 集団を対象とした健康教育の計画に基づき、デモンストレーションを行い、実施に向けて追加・修正を行う。 3) 地区踏査計画に基づいて、地区踏査を実施する。 4) 地域を対象とした保健師活動を見学する。 5) 中間カンファレンスを通して、見学・体験から得た実習目標に対する学びを報告する。	佐藤、明野、表山
4週	1. 市町村における個人・家族、集団、地域の健康課題の明確化(3) 2. 市町村における対象にあわせたPDCAサイクルを用いた支援の展開(3)	1) 母子事例または成人・高齢者事例を担当し、訪問事例への保健師が行う家庭訪問に同行し、個別・家族への支援を見学・一部実施する。 2) 集団を対象とした健康教育を実施する。 3) 地区踏査の報告を行う。	佐藤、明野、表山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		4) 地区踏査をふまえて、健康課題を明確化し、健康課題を解決するための公衆衛生看護活動としての対策・支援を検討する。	
5週	市町村および保健所における公衆衛生看護活動のあり方と支援の展開	1) 市区町村における実習を通して、特に重要であるとする健康課題を解決するために、施策化のプレゼンテーションを行う。 2) 市区町村での最終カンファレンスを通して、実習目的・目標に関する実習全体の学びを深める。 3) 保健所における保健師活動として、事例検討会、市町村支援、地区組織活動の見学・支援、関係者等との連絡調整会議、管理職保健師のシャドウイング、感染症予防講習会等から、保健所における保健師活動の意義とあり方を理解する。 4) 市区町村および保健所における実習での学びを通して、地域ケアシステム構築に向けたプレゼンテーションを行う。 5) 統合カンファレンスを通して、市区町村および保健所での学びを公衆衛生看護活動として統合し、住民の多様なニーズに応じた健康を高めるための援助のあり方と支援の展開方法を学ぶ。	佐藤、明野、表山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

実習目標の達成度（60%）、各実習日の学び、地域アセスメント、地区踏査、家庭訪問、健康教育、実習報告等の記録物（40%）により総合的に評価する。

【教科書】

麻原きよみ編著：公衆衛生看護学テキスト 第1巻 公衆衛生看護学原論 第2版、医歯薬出版株式会社
佐伯和子他編著：公衆衛生看護学テキスト 第2巻 公衆衛生看護の方法と技術、医歯薬出版株式会社
佐伯和子編著：地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド、医歯薬出版株式会社
岡本玲子他編著：公衆衛生看護学テキスト 第3巻 公衆衛生看護活動、医歯薬出版株式会社
藤内 修二編著：標準保健師講座・別巻1 保健医療福祉行政論、医学書院

【参考書】

中谷芳美：標準保健師講座 対象別公衆衛生看護活動、医学書院
中村裕美子：標準保健師講座 公衆衛生看護技術、医学書院

【備考】

- 1) 実習記録の配信には、Google Classroomを活用する。
- 2) 実習目標の達成度等の確認には、Google Classroomを活用する。
- 3) 指示した記録物の提出には、Google Classroomを活用する。

【学修の準備】

1. 実習前の学修の準備

- 1) 実習では、パソコンでの記録作成と自宅でのプリントアウトを必須とする。
- 2) パソコン、プリンターの整備をしておく。

2. 実習開始後の学修の準備

- 1) 実習要項の関連ページを熟読して臨む。
- 2) 記録様式1には、実習内容、実習目標および学びの視点を記入する。
- 3) 各実習プログラム参加時には、オリエンテーションの内容を確認して臨む。
- 4) 家庭訪問では、対象者の健康状態に関する病態生理およびアセスメント、地域の社会資源等を予習する。
- 5) 健康教育では、情報提供する際に用いる健康に関する知識・技術は、科学的根拠を確認する。
- 6) 健康診査の目的、問診項目とその意味、計測の方法と計測値の評価基準、主な指導内容、連携する職種の役割等について予習して臨む。
- 5) カンファレンスでは、学びや疑問などを整理し、実習目標と関連づけて言語化できるよう臨む。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。